

環境基本計画検討部会 会議録

1. 会議名 平成 27 年度 第 11 回東久留米市環境基本計画検討部会
2. 日 時 平成 27 年 10 月 8 日 (木) 午後 13 時 30 分から午後 16 時 30 分
3. 場 所 東久留米市役所 7 階 703 会議室
4. 出席委員氏名 (敬称略) 重藤さわ子 (部会長)、水戸部啓一 (副部会長)、田中直子、豊福正己、米村ひみ子、
5. 欠席委員氏名 (敬称略) 遠藤毅彦、小泉勝巳
6. 事務局職員名 小平卓係長 (計画調整係)、藤井華子主事 (計画調整係)
7. コンサルタント会社 (株式会社 総合環境計画) 花田浩一、植田恵理
8. 傍聴人 なし
9. 議題
 - (1) 第 10 回環境基本計画検討部会会議録 (案) の確認について (資料 1)
 - (2) 環境基本計画素案について (資料 2-1~5)
10. 配布資料

第 10 回環境基本計画検討部会会議録 (案)	…資料 1
環境基本計画作成イメージ	…資料 2-1
メールでの各委員意見について	…資料 2-2
かんきょう東久留米 (26 年度暫定版)	…資料 2-3
環境基本計画の個別目標等のリンケージ (審議会会長資料)	…資料 2-4
環境基本計画策定スケジュール (案)	…資料 2-5
11. 平成 27 年度第 11 回環境基本計画検討部会
 - ・ 出欠席者の報告 出席 5 名、欠席 2 名、定足数に達しており会議は成立
 - (1) 第 10 回環境基本計画検討部会会議録 (案) の確認について (資料 1)
 - 【事務局】内容に変更がなければ、委員の名前を伏せてHP上で公開する。修正箇所

がある場合は本日中に事務局に連絡してほしい。

【部 会 長】本日中に連絡のない場合は承認されたものとする。

(2) 環境基本計画素案について（資料 2-1～5）

【事 務 局】

・スケジュールについて説明

【委 員】パブリックコメントの前に庁内への意見照会を行うとあるが、この場合、パブリックコメント案の責任の所在はどうか。この流れの場合、パブリックコメント案に対しては、審議会が関与できないと思う。

【事 務 局】庁内で文言整理があればメール等で随時相談し、パブリックコメントの後に、出された意見への対応の検討も含めて、もう一度、審議会で議論して頂くことになる。その点では、最終的には審議会も関与する。

【部 会 長】シンポジウムについてだが、環境基本計画がテーマになるのであれば、スケジュールがどうなっているか知りたい。これまでの開催事例では、どのような進め方になっているのか。

【事 務 局】基本的には計画策定をテーマとしたシンポジウムの例はないと思う。類似事例としては、都市計画マスタープランの策定後にポスターセッション形式の説明会を開催したことがある。環境基本計画のシンポジウムについての事務局の想定だが、来年 2 月には計画の形が出来上がると思うので、3 月の開催を予定している。市民プラザの会場を仮予約ということで 2 日(3/12、3/26)確保している。

【部 会 長】3/12 と 3/26 は委員のみなさんにも予定を空けてもらっているので、どちらか決めていただきたい。検討部会は 1 月が最後だと思うが、シンポジウムの素案くらいは事前に出して頂ければと思う。事務局の方で段取りしてくれるのであれば、お任せしたいと思う。

【委 員】シンポジウムのテーマにもよるが、環境基本計画はシンポジウムのどの部分になる予定なのか。環境基本計画の他にはどのようなテーマがあるのか。

【事 務 局】環境基本計画の改定についてのシンポジウムである。他のテーマとの合同開催ではない。例えば、2 時間くらいの中で環境基本計画の概要説明や講演会を行うイメージである。

【部 会 長】パネルディスカッションも考えられる。

【委 員】都市計画マスタープランでは、小泉先生の講演後にテーマに分かれてポスターセッションを実施した。また、最後に各テーマでどんな意見が出されたのかを発表し合った。

【委 員】2 時間を講演会だけとするのは、聴いている方がつらい。

【部 会 長】講演は長くても 30 分くらいにして、その後パネルディスカッションやポスターセッションなどを検討したい。

- 【委員】都市計画マスタープランの場合、どれくらいの参加者数だったのか。
- 【委員】チラシを全戸配布して全体で150人であった。
- 【部長】市の広報に載せることもできるか。
- 【事務局】掲載する予定である。
- 【委員】都市計画マスタープランのシンポジウムは出来上がった計画に対する意見交換であった。それでも内容についての意見は多かった。例えば、こうしてほしかったなどである。今回のシンポジウムも完成した計画の発表であり、前提条件つきで意見をうかがうことになると思う。
- 【委員】環境基本計画はみんなで取り組むということを大事にしている。環境活動に、自主的に参加してほしいということをどこまで伝えることができるかが重要である。
- 【部長】シンポジウムは、環境基本計画の内容の議論というよりも、むしろ決起集会のような位置づけではないか。
- 【委員】都市計画マスタープランのシンポジウムは委員会の主催という形式で開催した。
- 【委員】講師を頼むにしても、日程を決めて打診しなくてはいけない。1月からでは間に合わないと思う。次回の部会までに予定などを整理して頂きたい。
- 【部長】次回にシンポジウムのたたき台があると良い。事務局で別途検討してほしい。
- 【事務局】
・資料2-1～5を説明
- 【委員】P6の立野川をもう少し長くしてもらいたい。
- 【コンサルタント】了解。
- 【部長】資料2-1に関しては、別途、メール等でやりとりした委員の意見を資料2-2として作成してもらっている。そちらも併せて見てほしい。1-4(1)は、委員に簡潔にまとめて頂いた。ただし、これまでの議論の経過もあるため、表形式で整理した案も本日用意させて頂いている。BODなどの細かい指標は載せなくてもよいのではないかと思う。私としては委員の案がすっきりしていると思う。
- 【委員】個別目標1は、水質の汚染防止に焦点をあてている。
- 【部長】P3の年表は年度を入れた方がよいのではないか。
- 【委員】すべてに年度を入れてしまうと煩雑になって見づらいと思う。むしろ「こういうことに取り組んできた」ということがわかれば良いと考えた。むしろ大事な事項が抜けていないかどうかを見て頂きたい。
- 【委員】名水百選に選定されたことは記載しないのか。
- 【委員】それはトピックスではないかと思い、入れなかった。意図したというよりも、結果として選定されたのではないかと思った。

- 【事務局】「取り組み」ということではないが、名水百選の選定は、かなり価値があった。選定により市民の意識もだいぶ変わったと思う。
- 【委員】何もしないで選定されたわけではなく、推薦状を書くなど色々と動いた。
- 【部会長】年表に関連計画が入っているが、必要かどうか。後の頁で出て来るので除いても良いと思う。
- 【委員】関連計画を削除して、名水百選を入れてもよいと思う。
- 【委員】数字の半角と全角が混在しているようである。
- 【コンサルタント】統一する。
- 【委員】年表中に○や▽があるが、何か違いがあるのか。
- 【委員】「取り組み」と「組織」を区別している。「取り組み」は▽、市民環境会議/庁内環境会議は「組織」なので○としている。
- 【委員】市民環境会議/庁内環境会議に「設置」を加えて▽で統一してはどうか。
- 【事務局】環境美化連絡会は平成18年から始まっている。これも年表に加えて良いか。
(一同同意)
- 【部会長】続いて1-4の議論に入る。シンプルにしすぎているなどの意見があれば聞きたい。
- 【委員】個別目標1だが、「水質は環境基準をほぼ下回り大きく改善しました。」とある。いつと比較して改善したのかを明確にした方が良い。
- 【委員】平成18年度の水質を比較しているので、〇〇年度以前よりと明記するのはどうか。もしくはBODの指標を入れても良いと思う。
- 【事務局】現在は黒目川のみ環境基準が設けられており、新たに落合川にも設定される予定である。
- 【委員】水質については「ほぼ下回る」ではなく「大きく下回る」に変えてはどうか。
- 【部会長】その意見に賛成である。「平成18年度より大きく下回っています」として、改善についての記載は削除でもいいと思う。
- 【委員】修正前のものには協働の取り組みについて書かれていたが、どうするか。
- 【委員】汚染防止は、自治体間の連携ばかりではないので、「市と連携した」ではなく「市とも連携した」としてはどうか。
- 【委員】その意見に賛成する。その下の文についてだが、「保護意識」ではなく「保全意識」としてどうか。
- 【委員】良いと思う。
- 【委員】個別目標2についてだが、「15.4%程度が維持」とある。これは緑地面積を指しているのか。
- 【委員】そうである。
- 【部会長】平成25年のかんきょう東久留米より引用している。
- 【委員】数値の母数が何であるのか、例えば「地域全体の」など明記した方が良い

と思う。

【部 会 長】次は個別目標 3 だが、最初の文を「絶滅危惧種などの多様な生きものの保護と調査～」に変えてはどうか。

【委 員】「市民が都に協力して」とあるが、「市民や都が取り組んで」に変えた方が良いと思う。

【委 員】その意見に賛成である。

【部 会 長】今出た意見をまとめると「絶滅危惧種などの多様な生きものの保護と調査等に市民や都が取り組んできました」となるが良いか。

(一同同意)

【委 員】外来種については植物のみの記載で良いのか。

【事 務 局】駆除しているのが植物のみである。「特定外来植物」の表記で良いと思う。

【部 会 長】次に個別目標 4 の議論に入る。

【委 員】資料 2-3 の P12 を見る限りでは、温室効果ガスの排出量について「削減が進みました。」と言えるかどうかかわからない。

【コンサルタント】24 年度に温室効果ガスの排出量が増加しているのは排出係数による影響である。

【部 会 長】温室効果ガスの排出量は、排出係数により数値の意味合いがわかりにくくなってしまう。違う数値を用いた方が良いと思う。

【委 員】原単位で表してもいいが、根拠となるデータが公表されていない。

【事 務 局】文中の「行政」という部分をなくしてみてもどうか。市全体の排出量は増加しているように見えるが、実際は減少している。排出係数の問題である。

【委 員】温室効果ガス排出量ではなく、エネルギー使用量を載せてみてはどうか。

【事 務 局】エネルギー使用量は公表していない。排出量でも係数を一定にすれば減少傾向にあることを表せる。

【委 員】説明を付けてもわかりにくいと思う。

【委 員】表現上、「低下傾向にある」として根拠を求められた場合は排出係数の説明をすれば良いのではないか。

【委 員】それでは、文中では「低下しています。」とすることで良いか。すなわち、「市全体では東日本大震災による節電意識で電力使用量が低下しています。」行政の表記はどうするか。

【部 会 長】行政の部分は明らかに低下しているものだけを載せることで良いのではないか。

【部 会 長】続いて個別目標 5 の議論に移る。

【委 員】最初の文の平成 22 年は平成 20 年度の誤りではないのか。

【事 務 局】誤りである。修正する。

【委 員】ここは指標を入れた方が良いのではないか。

【委 員】ゴミの排出量が減っていることだけわかれば良いと思う。

【部 会 長】では文中に「605 gに減少し」と追加してはどうか。

【委 員】ゴミの排出量削減についてはどう書くか。

【委 員】今、国では再利用と再資源化に注力していると思う。

【部 会 長】では「ゴミの排出量をさらに削減し再利用・再資源化を進める」で良いか。

(一同同意)

【部 会 長】個別目標6について意見あるか。

【委 員】「要請値」という用語は一般市民にはわからない。注釈を付けてほしい。

【委 員】「要請値」とは何か。

【事 務 局】都の「要請限度値」のことである。

【部 会 長】「東京都の要請限度値」と表記すればわかると思う。

【部 会 長】他に意見がなければ個別目標7の議論に移る。

【委 員】湧水については、名水百選にも選定された経緯があるので、残した方がいいと思う。

【事 務 局】名水百選に選定されたことで、保全意識が向上したように感じる。

【委 員】選定されるにあたって、市民の努力も大きかった。

【コ ン サ ル タ ン ト】名水百選の経緯については、トピックスとして載せてはどうか。

【部 会 長】P18に空いたスペースがあるので、そこに入れたらいいと思う。

(一同同意)

【委 員】文字表記についてだが、「子供」ではなく「子ども」の方がいいと思う。

【部 会 長】その意見に賛成する。

また、「計画の進め方についての課題」で修正の必要な箇所はあるか。「具体的な取り組み内容を示すこと」というのが少しおかしい気がする。

【委 員】評価の体制について触れてみてはどうか。

【委 員】もう一項目増やしてはどうか。

【部 会 長】「具体的な取り組み内容と実施していくための体制・仕組みが必要」に変更することで良いか。

(一同同意)

【部 会 長】「目標に対する評価の実施、進行管理について」で、「取り組みにつながった評価できる指標を設定すること」とあるが、「取り組みが評価できる指標を設定すること」ではないか。

(一同同意)

【部 会 長】それではP9～10の議論に移る。

【事 務 局】P10の地球温暖化対策のところ「実施は行政に留まっています。」とあるが、データがないだけで事業所でも取り組んでいると思う。

【委 員】「行政などの限られた範囲～」に修正してはどうか。

【委 員】「生きものの保全と水循環の維持」とあるが、「生きものと水循環の保全」の方がいいと思う。

- 【部 会 長】「市民・事業者・行政の協働を～」のところで、「担い手不足」という表現はおかしいと思う。「新たな担い手が生まれにくい」にしたいと思う。他に意見なければ2章の議論に移る。2-1「将来の環境像」について意見あるか。
- 【委 員】具体的に書きすぎていると思う。将来の環境像が具体的すぎると、ブレークダウンしたとき、目標が厳しくなりすぎてしまう可能性がある。もう少し抽象的にし、イメージはイラストや写真で示す方が良いと思う。
- 【委 員】自然環境そのものだけではなく、人々の意識や関心、関わり、取り組みも含めて「将来の環境像」であり、人々が誇りに思うようなフレーズを盛り込みたかった。一人ひとりがたゆまぬ努力をすることが大事ということが伝わるなら、イラストや写真でも良いと思う。また、「市民・事業者・行政」のところを、行政文書的にではなく、読み手ひとりひとりが当事者であることを訴えられるよう「東久留米に関わる私たち一人ひとりが」に変更したい。
- 【委 員】資料2-2の案で、下の方の文章はやめて、冒頭のリード文は、「東久留米に関わる私たち一人ひとりが」を追記した案にしたいと思う。
- 【部 会 長】このページに挿入できるような、良い写真やイラストがあれば推薦してほしい。
- 【委 員】「残したいもの」に人が介在しているイメージである。
- 【事 務 局】「将来の」としているのに、現存する写真を挿入していいのか。
- 【委 員】現存する中で「残したいもの」という解釈である。写真の縁はぼんやりするように加工してほしい。
- 【部 会 長】では2-2の議論に移る。資料2-4では環境審議会の会長から資料をいただいている。
- 【委 員】資料2-4にある通り、環境基本計画にも緑地保全計画や生物多様性が関係している。これを反映させた文章案を4つ記載しているので見てほしい。
- 【委 員】改定案4が一番いいと思う。ただ「生きものの関わり」を「生きものつながり」に変更した方がいいと思う。
- (一同同意)
- 【部 会 長】では3-1の議論に移る。
- 【委 員】◎と○の凡例は文を短くして、右上の方に入れた方がいいと思う。説明が詳しすぎて、わかりづらくなっている。
- 【委 員】「中心的に取り組む」と「ともに取り組む」だけの表記でいいと思う。
- (一同同意)
- 【部 会 長】次にP18であるが、さきほど意見があった通り、名水百選について写真付きで触れたいと思う。同様にP20にも何か挿入できるが、意見があるか。
- 【委 員】樹林地の写真やふれあいボランティアの写真はどうか。
- 【委 員】緑地保全活動の一環で、学生と一緒に草刈りしている写真がある。
- 【委 員】肖像権に注意して、掲載したい。

- 【部 会 長】次は、P49 の 4-5 について意見あるか。
- 【委 員】市民環境会議をハブとして掲載するのは、今の段階では難しいと思う。
- 【委 員】ハブとなる組織が必要なのは確かであるが、慎重に議論したい。
- 【委 員】市民環境会議の委員は 2 年ごとに変わる。必ずしも協働の中心となる意識もった人ばかりではない。
- 【コンサルタント】協働を進めていけば、必ずハブとなる NPO が必要となる。
- 【事 務 局】「中間支援組織」として記載できる組織は、現実には市民環境会議以外にないのではないか。
- 【部 会 長】図の市民環境会議の枠を消して、文字だけで「ネットワーク強化」としてみてはどうか。
- 【委 員】図の円の中心に何も書かないというのはどうか。
- 【部 会 長】「環境ハブ」とだけ記載してはどうか。
- 【委 員】その意見に賛成である。
- 【部 会 長】ハブが必要であるということは明記した方がいいと思う。
- 【委 員】これはみんな同じ認識であると思っていいのか。
- (一同同意)
- 【委 員】市民環境会議に参加するきっかけは、イベントの参加がほとんどであり、市民活動レベルのハブ組織に寄与したいという人は多くないと思う。
- 【委 員】新しい人が参加することで組織が強くなる。市では参加者が増えるようアピールすべきである。
- 【部 会 長】それについては、勉強会を開催したり、別の団体の活動を参考にしたりしても良いと思う。
- 【委 員】実態としては、ハブになるという意味で参加者のモチベーションも、そんなに高くないかもしれない。ギャップがあると思う。そういう状況から「育てる」という考え方もあるが、外部から人材を引っ張ってくるということも考えられる。例えばリタイヤした人が参加しているイメージである。
- 【事 務 局】かつて、水と緑部会で水の関連団体を束ねようとしたことがあったと聞く。
- 【委 員】協力や協働には、やはりベネフィットが重要だと思う。
- 【事 務 局】そう思う。ベネフィットと目的があれば、参加者が増えると思う。
- 【委 員】イベントやプロジェクトを仕掛けたりすることも、ハブ組織の役割となる。
- 【委 員】日頃からのつながりが大切になる。そうすると、専従の人がいないとなかなか難しい。
- 【委 員】気軽に集まることができる場も必要である。
- 【委 員】PR や広報が重要で、環境や活動に関わる情報を束ねて受発信できる機能や人材も必要である。
- 【部 会 長】他になければ、終了するが良いか。次回の環境部会は 10/30 の 13 : 30 からである。

【事務局】 今後はレイアウトの議論にもなると思う。次回まで各自でお気に入りの計画等の冊子をもちよって頂ければと思う。

12. 閉会

【部会長】 それでは第 11 回検討部会を終了する。ありがとうございました。